いわき民報
平市田町四丁目八番地電話三一番
印刷人兼発行人　千葉克己
日刊（但月曜を除く）
定價一部一月廿五円九十錢
発行所　いわき民報社

商港實現に急ピッチ

荷役設備改善も本月中に着工

十六日に後藤港灣局長も來濱

小名濱港

みなと小名濱の修築は例の軍艦颱風沈設工事も豫想外の好成績裡に終了したので、町では十六日運輸省後藤港灣局長一行の來町視察を機に内祝を催すとゝもに水揚げ岸壁付近の浚渫工事も本年度豫算で實行されるよう陳情することゝなり、七日役場にこれが打合せ協議會を開くことに決つた、一方商港としての荷揚げ設備改善問題に關しては日本水素の肝煎りで商工省産業復興團の手により四千六百二十万円で大改修し能力毎時百五十トンの橋型ポータ付水平起重機一基、石炭積用の全能力の水平引上起重機一基が設備されるほか閘障四百米の貯炭場や八百メートルの引込線も敷設されることとなり、本月中に着工せられることになつた、更に例の磐南臨海鐵道も待望の認可が下り、急速實現に進むことゝなつており、これが實施のあかつきは常磐線泉驛と小名濱及び江名も直結せられるので、こゝに全港は名實ともに東北一を誇る太平洋岸唯一の一大商港として祖國再建に大きな役割を果すことになるので、各方面から大きな期待を向けられている

運營會社も創設して

總資本二百萬圓の全額拂込みで

小名濱港待望の荷揚げ設備擴充工事はいよ〳〵本月中に着工される事になつたが、この設備を完全に運營するためには小名濱町としても適當な機關を設けなければならぬとあつて八日午前九時から日本水素工場に町有志の參集を求めて種々協議の結果、總額二百万円、全額拂込みに依る運營新會社を創設することになつた、なお今回の計劃によると輸送難になやむ石炭も一月一万五千トンの海上輸送が可能となり、現在ざつと八倍の能力を誇り得るわけである

平石炭局も促進要望

初の局長會議に

平石炭局では現在の輸送難と山元貯炭の激增に鑑み、小名濱港を利用しての海上輸送にも重點を置くことゝして、七八兩日石炭局長會議に特に常磐炭の海上輸送と小名濱港の改修工事促進及び陸上積込み設備（縣營）の增强方を提案することになつた、なおこのほかの提案事項は左の通り

◇勿來炭鑛に引込線建設◇常磐地方に炭鑛技術研究所

小名濱組は小名濱運送に合併内定

職業安定法に基き

小名濱町日本水素の下請負小名濱組（實仕者西丸猛氏）では常磐地方防排水對策委員會で村石炭鑛頭地區は一度採掘したあとを現在再掘している炭鑛が多いため、地表の龜裂がひどく、ために降雨時には附近炭鑛の切羽は水浸する始末殊に常磐炭鑛あたりは水中時は毎分三百立方メートルの排水をしなければならぬので採炭上支障多く增炭の一大障害であるから龜裂箇所にはセメント舗裝による排水工事が必要であると、かねてこれは請負契約によつて事業中だつたが職業安定法に抵觸するとして禁じられている勞務供給事業に類似しているのでこれが處置を考慮中だつたが小名濱運送株式會社へ合併條件なども目下協議を進めている、同組の從業員は三十五名である

排水問題採擇さる

總工費は八千七百四十一萬圓で

常磐地方防排水對策委員會で村石炭鑛頭地區は一度採掘したあとを現在再掘している炭鑛が多いため、地表の龜裂がひどく、ために降雨時には附近炭鑛の切羽は水浸する始末殊に常磐炭鑛あたりは水中時は毎分三百立方メートルの排水をしなければならぬので採炭上支障多く增炭の一大障害であるから龜裂箇所にはセメント舗裝による排水工事が必要であると、かねてこれが實現方を參、衆議院に請願中のところ今度鑛工業委員會で採擇された、なお全工事は川平大澤、蛭子澤、滑津澤、栃窪澤、三友澤、社宅裏、枝澤、同本澤、淵澤、淵の作澤

以上九ヶ所で延長五千二百十九メートル、工費八千七百四十一万円となつている

三件だけを漸く自供

なかなか口を割らぬ村井忠課長

【既報】五日朝任意出頭の形式で平市署に召喚された農業會石城支部牛産課長村井忠氏（三八）は全夜全署の緊急捕令で留置された、取調べに際し最初なかなか口を割らなかつたが、午後からボツ〳〵口を割り、平市農業會から硫安肥二十俵分の一俵二千円の割で四萬円、飯野村から五十俵分六萬五千円、草野村から十五俵の二萬円をとつたが、うち十七萬円は實弟がトラックを買入れるのに貸し、一万円は自宅にあると自供した、然し神谷・高久の各農業會の分に對しては未だ固く口を減しているなお、全署では六日檢察へ逮捕狀を要求したが、目下のところ物價統制令違反は問題なくたゞ詐欺罪の點については多少疑問もあるかとみられるので、署側では證據固めを急いでいる

姙産婦に食用油脂

寒冷地給退

一人當一九〇グラム

進駐軍の好意により今度始めて姙産婦用の昭和二十二年度食用油脂の特配通知が地方事務所に屆いたが品質は鯨油又は人造バターで、數量は管内一九五キロ、配給對象は産後十二ヶ月までの産婦全部、姙婦にあつては醫師又は産婆の診斷により姙婦と認定になつてから市町村に屆出た者で、購入方法は家庭用購入通帳、ない町村は購入券が發行され る、配給數量は姙産婦共に一人當り約一九〇グラム（約一、二合）

石鹸配給

昭和二十二年度第二回家庭用石鹸の割當がこの程石城地方事務所に一四一、四九五個なつたが一人に付一個の割合で現物の入荷次第に配給する

消防施設の擴充懇談

七ヶ町村を招いて

市常備消防では今回自動車ポンプを購入することになつたのでこれを機會に郷町外六ヶ町村の隣接町村長並に消防團長を招き十二日午前十時から公會堂日本間に消防施設充實强化の懇談會を開くことになつた

いわき寸言

▲正義とは權力の蔭にあるものでは有りません

▲德や孤ならずではなく近隣惡や孤ならずです

▲良き映畫が入らずチャチな映畫が入るとはネエ！市民の頭の程度も自ら知れ申すという

タイプ印書
引受けます
榮タイプライター商會
平市田町五五
電二一〇四

郷土に送くるタに
送放晩今々堂
が名五選入慢自ド
去る十八日平市第三小學校で開かれたNHK素人のど自慢大會で鐘三つを獲て見事入選した佐藤義昭（四倉）丸山チエ（平）坂本金松（双葉郡木戸）高木都子（磐崎）山崎ヤス子（常磐）の五君は今六日夜八時から郡山放送局から『郷土へ送る夕』に出演する

智勝院瑞光麗雯童女
碧送の際は遠路態々御出
香奠を恵ふし千萬難有御禮申上
候實は一々拜趨御挨拶可申上筈の處不取敢以紙上御禮
迄申述度如是御座候
昭和二十三年五月三日
父　大井川幸隆
外親戚一同

本家日蓮宗淨風會福島支部顧問高濃りく刀自
曾福島支部顧問
かねて病氣中のところ五日午後七時四十分死去致しました就而は七日午後一時より當支部に於て支部葬を行ひます
昭和二十三年五月六日　平市長橋町二七
本家日蓮宗　淨風會福島支部
支部長　高野幸一　幹部長　二浦彦
湯本組長　海老原正一　宮本組長　高木正隆
好間組長　柴田代治　宮組員　白土七太郎
顧問　田久弥七

母トヨ義永らく病氣中の處藥石無効五月五日午後九時三十分永眠致しました茲に生前の御厚誼を拜謝し謹しんで御知せ申上ます
追而來る五月七日午後一時より二時迄の間自宅にて告別式を行います
昭和二十三年五月六日　平市田町五二
喪主　須藤鶴之助
親戚　井坂梅次郎
仝　猪狩和良

何と七千七百餘万圓

郡下各町村の本年度新豫算調べ

平市役所感激

七日朝市役所社會課へ「私共一、三十で人の嫌がる仕事があったらさせて貰いたい」と申出た男があった、この人は市内仲町町四〇神道教師村上善作氏で天理教會濱通支部の支部長さん、天理教では五月十三日が「日の寄進デー」になっているので中を中心とした同教徒五十名が話合つて市へ願出たものである、市ではこの勤勞奉仕の申出に大喜び日曜なら勤め人の信徒も都合が良いだろうと十六日を選び下水道の掃除をして貰うことになった

天理教徒の奇特心

口城地方事務所では、この程管内各町村の昭和二十三年度新豫算の報告をとりまとめたが、左の通り合計七千八百八十一万三千六十五円で、過去に較べると町村豫算も大きな數字になったもの、それだけに町村民の負擔も増大されたわけではある（單位円）

渡邊村八八二、九〇九泉村一三八三、七二九植田町三六〇二、六九八山田村一〇六五、八九八錦町二五九九五一九勿來町三四四四、八〇〇上遠野村一三六一、〇三七八遠野一五三七、六一一川部村一三八〇、四〇六田人村一四五七、九八四飯野村九七九、六三八夏井村九五九、三八四高久村一〇一〇、五〇九磐間町一〇九九、一六三江名町四九五一六二二鹿島村一一七四、〇七六小名濱町一一七九二、二九〇磐崎村二四四四、八九五湯本町七二九五、三一四内郷町六二二八、六五五好間村三九二一、四一〇赤井村二八五三、二四三永戸箕輪一〇四四、四六一渡邊三坂村九五八、一二三八神谷村八八〇、七九七草野村一三二九七、二五六浦村一一七三、七五〇四倉町四七一九七、五八〇六野村一一三四九七〇上小川村五六五、二九五下小川村三七、三四二上下小川組合一三三一、五七一川前村八六二、九五六

事前割當の準備打合會

三地區の日割決る

食糧調整委員會供出事前割當準備打合會は地區別に開き供出割當を協議し全体會議で正式決定するので中地區は十一日午前十時から市公會堂日本間に、草野湯本地區は十二日各役場、植田小名濱地區は十三日各役場で地區食調委勧業主任の出席のもとに協議する

武器所有は本月中に

その後は斷呼處斷

平市署では未だに無許可で武器類を所持しているものがあるので今後は嚴重處斷することになったが、これに先立つて十五種以上の刀劍類及び無許可獵銃等所有者が本月中に届出提出したものは特に處罰を許されることになったが、至急該當者は届出て欲しいと促している、なほ美術的價値が認めるものは所持許可證が與えられることになっているが、萬全を期するため公安委員とも連絡市内各映畫館で休憩時を利用しこの宣傳もすることになった

四月の坑木生産低下

三月分のざっと十分の一程度に

石城地方事務所管内四月分の坑木生産高は一、一七五石で生産目標がないが、三月分の一五、一六八石に比較すれば約十分の一にダット低下している、これは冬山坑木增産期間中に多量の實績をあげ各ヤマでは當分には、心配はないことも影響しているのであるが、四月から七月頃までの期間は杉皮の生産が主となっている關係とある

衣料品
呉服と洋品有名化粧品と小間物
雜貨　レコードと樂譜樂器と
附類屬雜誌
平市四丁目　電268電
山吉商店

衣類　書畫
骨董
貴金屬
高價買入
平市南町
中央會館
電九一七

病人に卵配給

市では一人當り二個の割で

摘發鷄卵を醫師の證明書持參の病人に限り七日配給する、値段は一個二円

特殊汽罐士試驗合格者

特殊汽罐士の試驗が去る四月五日福島勞働基準局に開らかれたが勞働中基準監督所管内でパスしたもの左の通り

齋藤市郎（好間）廣重義人（小名濱）別府忠興（好間）助川英一（錦町）横井重光（小名濱）根本三郎（錦町）岡部三治（同上）

丸麥を買つて

赤井村大字赤井字大場作雜貨商林樂溢さん（三五）は去月二十八日夕大野村大字駒込字馬場農市川昌晴さん（三七）方から丸麥二斗を一升百三十円の割で買い自轉車に積けて來たところを自宅前附近で駐在署員に御用

精神科

内科
平市播磨小路
アラタメ
新田目醫院
電15

貯蓄奬勵の移動展

縣主催貯蓄奬勵移動展覽會は六、七の兩日市役所前五關口で開くが多數市民の觀覽を希望している

隣保館の遠足

中隣保館では初の遠足を八日ツツヂの松ヶ岡公園に行い楽しい一日を送る

手長少年遂に御用

内郷町大字宮字代無職

去る二月十六日夜全町住吉鑛分寮炊事場から米二斗を盗んだのを手初に四月下旬にかけて前後六回全町を中心に約三萬円にも上り働いていたこと發覺衣類、現金その他の盗みをこの程内郷署へ

車中で急死

六日朝平前一時十七分ころ上野發二〇七列車が平驛に停車した際、乘客中の年令四十四五才、國防色脊廣に黑皮靴靴姿で、身長五尺四、五寸のやせ型の紳士が意識不明に陥入っているのを發見、驛員が市内安齋病院にかつぎ込み手當を加えたが死亡した、心臓マヒか腦溢血らしく、平市署から伊藤次席、山田刑事が急行檢視をしたが、所持の名刺には旭化工石炭質黑板商社特約店、東京釣徹畫商會北海道地方代理店晶井一郎、自宅常呂郡端野村事務所網走市新町六九となっており、切符荷物の携帯からみて買出しに來たもので名古屋甲府方面から購入して來た木製水晶學用品等多額に所持しており、その他チッキにした小荷物もある、なほ死体は受取人が急行するまで假埋葬することになった

水道とポンプ工事
具用手類
機械工具と水道
鐵管と鐵管
鉛管
平市白銀町二電八八二
藤浪商店

灰

明大の學生さん十五名が五日から一週間平クラブの庭球指導を受けることになったがさて宿舍をどこにしたら良いかと同クラブで思案した結果閑な○○湯に決めたなぜ市街地を離れたこゝをえらんだか？その理由に曰く「實はこゝに泊ることもはつきり發表したくないんです、何せ女學生からのお通が多くて練習の邪魔になると大變でして…」となか〳〵同クラブの人たちの指導は念には念を入れての用心である女學生諸君この○○湯は市内便で直ぐ屆くところですから心配ご無用です

機械工具
水道用具
高平商會
平驛前通白銀町一五

パーマネント
パーは出來ても休日はてもマネントます
電話美容室
メイ牛山門下
永山ツル子
平市田町六八
徒弟一名急募

職種　給仕（男）　若干名
學歴　新制中學卒業程度以上
待遇　農林事務官又は農林技官に昇進の道あり
給與　面談の上
希望者は自筆履歴書持參の上五月十一日十三時に常磐出頭願ひ度い
平市舊城跡　平營林署

署員募集

一生に一度
いま一回とは見られぬかも知れない名畫
第二イワキが眞實を以つてお奬めする世紀的名作
◇九日まで上映中◇
内郷　第二イワキ
總天然色　石の花

各種ミシンの販賣と修理
平和通り
三浦商會ミシン部
電八六四番